

授業科目名	地理学(2000024)		
時間割名	地理学(22101)		
時間割担当	淡野明彦		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・2		

授業の目標・概要

現代社会は諸国間との政治的・経済的・文化的な関係が複雑に絡み合っており、そうした関係を読み解く際に、社会的かつ自然的な環境の特殊性や共通性への理解、それらの地域的な広がりや配置など、地理的な視点が必要になる場合がある。本講義では、地形や気候などの自然地理および産業や貿易などの人文地理について学び、地理の基本的概念の習得を目指す。地理の関係図表から情報を読み取る練習を繰り返し行い、地理的な視点で現代の諸事象を深く理解し、問題意識をもつことができる能力を身に付ける。

学習の到達目標

- ・地図帳等の関係図表から情報を読み取る能力が習得できるか
- ・地表の諸現象の個々の構造を理解できるか
- ・諸現象間の有機的な関連を理解できるか
- ・グローバルな視点から日常の諸現象を捉えることができるか

授業方法・形式

- ・講義形式を基本とし、その内容に基づいた小レポートを適宜に作成し、提出する。
- ・必要に応じ、パワーポイント等のビジュアルな教材を提示し、理解を容易にする。

授業計画

第1回	オリエンテーション（授業のガイダンス、受講確認）
第2回	現代社会で生じている諸問題の把握（地球温暖化）
第3回	”（異常気象）
第4回	”（多発する地震と噴火）
第5回	”（プレートテクトニクス）
第6回	”（民族間紛争）
第7回	”（産業の国際化 製造業）
第8回	”（産業の国際化 商業）
第9回	”（ ” 流通）
第10回	”（貧困と飢餓）
第11回	”（疾病の広域化）
第12回	諸問題の解決への課題（観測・予知体制の強化）
第13回	”（防災の強化）
第14回	”（国際間連携・強調の強化）
第15回	全体のまとめ

成績評価の基準

- ・平常点 40%
- ・小レポート 20%
- ・期末筆記試験 40% 必ず受験すること

授業時間外の課題

- ・講義ノートを作成し、指示された予習事項について準備し、毎回の授業の終了においては学んだ事項の整理をすること。
- ・マスコミによって伝えられる日常的なトピックについて地図帳により場所的な確認に心がけること。

メッセージ

- ・「教えられる」という意識ではなく、「自ら学ぶ」という積極的な意識を持つこと。
- ・授業で得られた知見を日常的な生活において活用すること。

教材・教科書

「基本地図帳 2014-2015」二宮書店発行 予価¥.1,800- 必携

参考書

授業時に適宜指示する。